

フェア実績報告

緑化フェア通信も最終号となりました。今回は72日間を振り返って、神奈川支部が実施した実績について、ご報告いたします。

動員実績

全期間72日のうち、期間中の土日、祝祭日の28日間に亘り動員を要請しました。講師を含め、延べ107名（支部会員105名）の方に参加いただきました。動員表に記載は有りませんが、多くの支部会員が来場され、ブースにも挨拶にみえました。また、本部の大島事務局長、近藤事業部会長にもお越しいただきました。

平日は不在のため、ブース訪問者のために「感想ノート」を常備しました。記載者は外国人1名、低学年2名を含む、12名でした。その中に「樹木医というのがあることを初めて知った」との記述がありました。今回、出展したことによって知っていただけてよかったですと思います。また、平日のブース開閉については横浜市緑化フェア推進課の皆様にご協力を頂きました。

樹木相談



相談実施日は27日間。対応は2名体制とし、病害虫・樹木・キノコ・園芸植物等の書籍を持参しました。5月5日はネイチャークラフトを、ブース全体を使って実施したため、相談は実施しませんでした。

全体の相談件数は301件（1日平均11件）、相談者数330名（夫婦、友人等）、ブース来場者530名、主な相談内容としては「花が咲かない」、「実がならない」、「病害虫」、園芸植物等でした。

各種イベントの実施

パネル展示：実行委員会で検討した内容を、パネル（A1版、12枚作成）としてブース3面に掲示、里山ガーデンで採れた木材・キノコ等の展示、今回の出展に合わせて作成した支部パンフレットの配布（1,000部）を行いました。



また、期間中、下記6イベントを延べ17回開催しました。総参加者数は373人です。



ミニ観察会：6回実施。講師は橘、山本、吉無田。会場内の樹木と草花についての解説・案内を実施。会場内は見どころが多くて、取り上げる植物を絞るのが大変なほどでした。参加者は4/1は13名、4/8は11名、4/30は45名、5/4は16名、5/6は18名、5/14は8名の計111名でした。

みちくさ散歩：4回実施 4/16 午前13名、午後18名、4/23 午前20名、午後17名参加、計68名



東京都支部（元神奈川支部）佐々木和幸氏の解説により、会場内と保全林の観察会を行いました。

個々の樹木や草花についての解説は、それぞれの生き方を人間に例えて、分かりやすく親しみやすい内容でした。また、この地域の地形や歴史、人の暮らしぶりに触れながら、人と自然の関わりも地域の植生に影響があることやその変遷について語って頂きました。

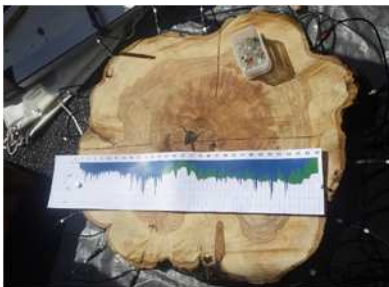
ネイチャークラフト：2回実施。4月16日(日)に続き、5月5日(金)「子供の日」に実施しました。参加者



は延べ30人です。出来上がった作品を持つ子供たちの得意げな笑顔が印象的でした。参加した講師は鈴木、有賀の他、吉無田、梅澤、加藤、小西でした。鈴木健一樹木医は、シュロの葉っぱを編んで「バッタ」を作りました。

有賀一郎樹木医は、枝、タケ、葉っぱ、シュロの皮等を使って「いろいろな虫＝カブトムシ・クワガタムシ・トンボ・カマキリなど」を作りました。リピーターも現れる等、子供の要求にこたえられたと思います。

木の内部診断紹介：2回実施。講師は、後藤直樹氏。実践を交えた樹木内部の診断方法の紹介を行いました。



いずれの回も3～最大30名程度の方（入れ替わり立ち代わり）に聞いていただきました。実践材料は、ソメイヨシノとイチョウの腐朽材を用意し、木槌の打診からレジストグラフ、ドクターウツズの機械診断の紹介を行いました。

木のお医者さんになってみよう：5月7日午後、28日午後の2回実施。延べ19名（定員10名）の参加が

ありました。講師は岡澤、宮本、寺井、山岡、片山、小川の6名。木の計測実演、樹木・キノコ・病虫害の観察、木槌による打診などを行いました。参加者からは「普段経験できないことができてよかった。」「樹木医さんの仕事の一端を感じられて良かった」等の感想がありました。



一般公開講座「松を守る」：講師：神奈川支部、栗原俊光、及川夕



子、5月24日午後、緑化フェア実行委員会と共催で開催。85名が参加。催事テントを使って講演、実技を行った。行政からも20名の参加があった。専門的な内容であったが、判り易い説明で参加者はメモをとり、終了後も熱心に質問していた。

栗原氏コメント：松をザイセンチュウの直接被害から守る方法は、現状、樹幹注入が最も有効な手段です。散布剤はカミキリが対象で

す。燻蒸処理は費用・労力面から経費を無駄に浪費する消極的な対処法と言えます。

広報計画

出展にあたって、広報については次の視点から取り組みました。

・樹木医活動を広く一般の方に理解していただく

実行委員会の中で様々な意見が交わされ、最終的に神奈川樹木医会のパンフレット作成を行いました。今回の機会がなければ、支部のパンフレット作製は行われなかったかもしれません。良いタイミングで作成できました。増刷も予定しているので、会員の皆さんには、是非、業務等で活用していただきたいと思えます。

・会場で実施したイベントへの参加募集

横浜市のご担当のお陰で、緑化フェアのHPにリンクを張っていただくことができました。また、広報部会の倉田部会長、澤田健二さんの全面的なバックアップも大きかったと思います。支部HPでのPR、支部ブログの立ち上げも行って頂きました。参加した会員各位も、現地にて、参加の声かけ、場内アナウンスの活用、手作り看板の設置など、積極的に参加を呼びかけました。

・実施結果の会員への報告

「緑化フェア通信」と銘打って、参加メンバーが交代で記事を書きました。また、配信にあたってはイベントへの参加をその都度、広報担当 澤田さんから呼びかけてもらいました。地道な努力が動員の目標達成に繋がったと思います。通信は今回の最終号を含めて12号発行しました。記録としても活用できることを念頭に作成しました。

実行委員会

平成28年度総会において、都市緑化よこはまフェアに支部として参加する承認を頂きました。その後、公募委員、理事選出委員からなる実行委員会を立ち上げました。委員会では各種資料の作成、展示コンセプト・パネル作成、イベント計画の企画立案、動員計画の作成、支部パンフレットの検討等、毎月1回のペースで行い、延べ11回、実行委員会を開催しました。



委員メンバー：有賀一郎（6期）、岡澤信一（8期）、栗原俊光（12期）橋大介（17期）、山本洋之（17期）、植田律（22期）、野田晴美（23期）、梅澤将司（24期）以上8名

□有賀一郎（担当：「ネイチャークラフト」、展示パネル、腕章の作成等）

コメント：実はネイチャークラフトの準備は材料の準備が大変でした。1回の準備に2週間ぐらいかかりました。なお、持ち帰ったごみの山（大切な材料）を片づけるのに翌日、一日中かかりましたが、次のイベント、要請は、有ればすぐに出動できるように準備しました。一緒に講師やれる方も増えました。必要ならいつでも出動します。結構受ける自信があります。

□岡澤信一（担当：統括、総務、渉外、「木のお医者さんになってみよう」、展示パネル作成等）

コメント：支部長になる少し前に、横浜で全国都市緑化フェアが初めて開催されることを知りました。これは樹木医会神奈川支部として是非参加すべきだと思い、当時の有賀支部長に相談し賛同を頂いたため、横浜市の担当部局に相談しました。その結果、とんとん拍子で話が進み、実行委員会の結成を経て参加にこぎつけました。樹木医の全国大会を平成17年に開催して以来、支部として取り組んだ大きなイベントで

した。今回の参加は支部会員の皆さんにとって良い経験になったと思います。また、今後の支部活動に繋がると思います。皆様のご協力に感謝申し上げます。

□栗原俊光（担当：一般公開講座「松を守る」、展示パネル企画等）

コメント：都市緑化フェアの実行委員の一人として参加しました。大した協力は出来ませんでした。定期的な会合に参加する事で新たに委員の方達と親交を深める機会を得た事は大きな喜びとなっています。有難うございました。

□橘 大介（担当：支部パンフレット・パネルの作製、「ミニ観察会」、パネル作成等）

コメント：実行委員会が11回開催され、日常業務で繁忙な若手実行委員の方々には本当にご苦労様でした。多年の懸案であった支部パンフレットに関しては、小倉理事の協力も得て、支部会員が有効活用でき、一般の方々にも親しみやすい柔らかい内容とイラストを用いて制作してみました。パネルに関しては、日頃思っている街路樹の役割・魅力・課題などを取りまとめて作ってみました。またミニ観察会は2日間主担当で開催しましたが、たくさんの女性の方々に参加していただき、女性の緑に対する関心が極めて高いことを再認識しました。最後に協力していただいた支部会員の方々にもお礼申し上げます。

□山本洋之（担当：広報、議事録作成、パネル作成、「ミニ観察会」等）

コメント：準備期間も含めて会期も長く、大変でした。ご協力いただいた方に感謝いたします。

□植田 律（担当：公開講座「松を守る」、「ネイチャークラフト」等）

コメント：公開講座「松を守る」の準備やその他イベントで使用する丸太の搬入などを担当しました。会場に行くことが多く、そのたびに季節のうつろいとともに変化する木々たちを楽しむことができました。

□野田晴美（担当：総務、動員計画、展示パネル、「樹木精密診断」等）

コメント：このようなイベントごとに不慣れで、実行委員会・支部会員の皆様にご迷惑をおかけし、大変失礼をいたしました。温かく見守っていただき、ありがとうございました。お忙しい中、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

□梅澤将司（担当：会計、動員費の分配、展示パネル、「みちくさ散歩」、「ネイチャークラフト」等）

コメント：イベント・企画展示準備の両方で補佐的役割しか出来ませんでしたので、大したお役に立てなかったと思います。委員会メンバーに助けられて無事に会期を終えられた事を感謝しております。

実行委員のメンバーなくして、今回の出展は成り立ちませんでした。この場を借りて、改めて、実行委員を務めていただいた皆様にお礼申し上げます。

そして、今回の緑化フェア参加にご協力いただいた、横浜市の全国緑化フェア推進課の大窪係長、Sさん、Hさん、会場のスタッフ・ボランティアの皆さん、会議室をお借りした（株）ランズ計画研究所、樹木医本部の近藤勝美 事業部会長、大島克郎 事務局長、ご参加いただいた支部会員の皆様に心からお礼申し上げます。

平成29年7月7日

文責：岡澤信一